

## **第7章 管理道・園路設計**

## 7-1 管理道構造の検討

「国史跡青谷上寺地遺跡整備活用基本計画（詳細化）」、「青谷上寺地遺跡整備活用基本計画及び基本設計」において、管理用道路は南側工区に設定されており、北側工区は歩行者系園路を整備する計画となっている。

北側工区にける整備活用委員会を踏まえ、実施設計では遺跡発見ひろば（東）の遺跡展示施設東端の管理車両出入口から、西側のエントランス広場間を1号管理道としてW=4.0mで整備を行う。また、弥生の海辺ひろばにおいては複数のイベント開催が予想されるため、準管理道として位置づけW=3.5mの幅員で整備を行う。

なお、管理道は管理車両による諸施設の維持管理を目的とした道路であり、平時においては、来訪者の散策動線としての役割も果たすこととなる。

管理用道路の整備に関する基本的な考え方を以下に整理する。

### (1) 動線について

- ①管理用道路は、史跡地内の景観や利用者動線を踏まえて設定する必要がある。
- ②管理車両の方向転換を考慮して転回スペースまたは周回ルートとした。
- ③設計対象車両として「4tトラック相当の車両」を設定した。また、円滑な走行性を確保するため、屈曲部における曲線半径をR=9m以上確保する計画とした。

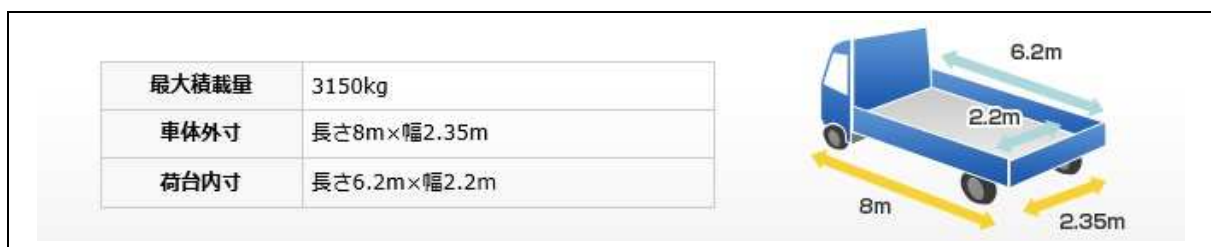


図 7.1 4tトラック（4t平車）の寸法

### (2) 幅員について

- ①幅員は「国史跡青谷上寺地遺跡整備活用基本計画（詳細化）」及び「青谷上寺地遺跡整備活用基本計画及び基本設計」に準拠し、W=4.0mとした。
- ②幅員4mの場合、4tトラックは単独走行、軽トラックはすれ違い走行が可能となる。また、車両以外の場合は、歩行者2名、車いす2台が並走できる。

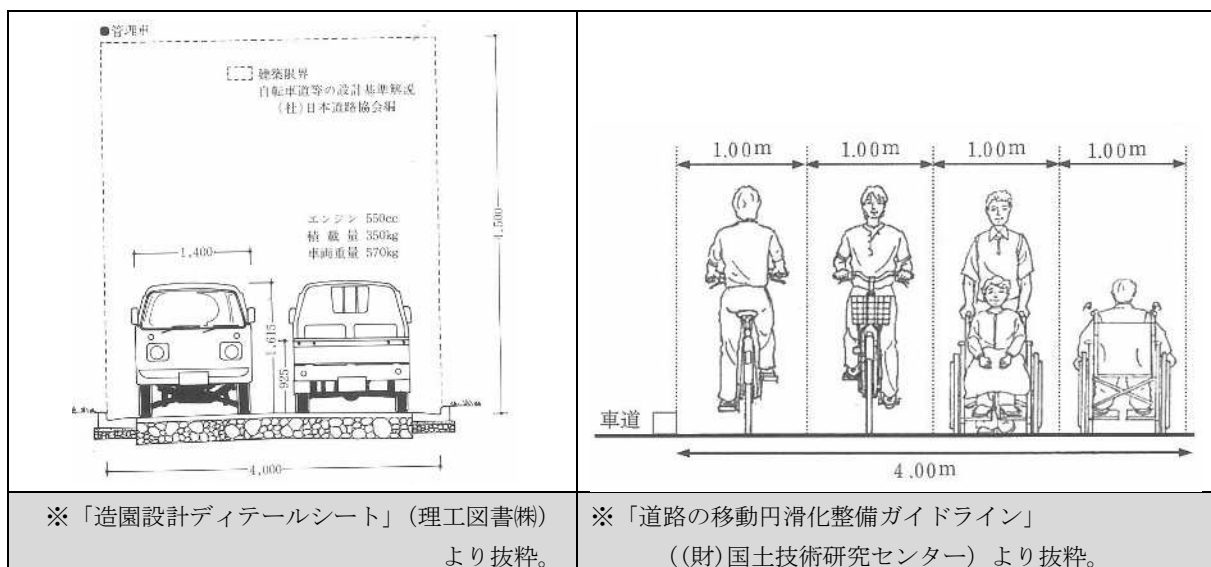


図 7.2 幅員4mの道路活用事例

### (3) 縦断勾配・横断勾配について

- ①高齢者や車いす使用者等の円滑な移動に配慮して、縦断勾配を5%以下に設定した。  
(本設計では、最急縦断勾配を1.07%とした。)
- ②車いす使用者等の利用を考慮し、横断勾配を1.5%に設定した。

#### ■縦断勾配・横断勾配の考え方

(「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン【改訂版】 P24」(国土交通省)より抜粋。)

##### ◇園路及び広場

- ・縦断勾配は、五パーセント以下とすること。ただし、地形の状況その他の特別の理由によりやむを得ない場合は、八パーセント以下とすることができる。
- ・横断勾配は、一パーセント以下とすること。ただし、地形の状況その他の特別の理由によりやむを得ない場合は、二パーセント以下とすることができる。

## 7-2 園路構造の検討

青谷上地寺遺跡には、史跡の学習や体験等を目的とした見学者、園路周遊コースを活用したウォーキングを目的とした利用者、イベント参加者といった利用目的の異なる3パターンの来訪者が想定される。このため、それぞれの来訪者が目的に沿って利用できるよう、利用動線を適切に整備することが重要となる。また、青谷上地寺遺跡は、不特定かつ多数の者が利用する公共施設であることから、高齢者、障がい者等を含む全ての人々が、史跡地内の主要施設に安全かつ円滑に移動できるよう整備する必要がある。

これらの内容を踏まえ、園路整備に関する基本的な考え方を以下に整理する。

### (1) 動線について

- ①本設計では、園路は相互を接続しネットワーク化を図ることによって史跡地内全体の周遊性を高めることとした。
- ②園路と広場等、各ゾーンの視認性を向上させ、連続性を持たせた。
- ③園路線形に曲線要素を取り入れることにより、変化にとんだ多様な景観を創出し、園内の回遊性を高めた。
- ④安全かつ快適に園内を散策するため、区域外に接する箇所には車止めを設置し、車両の進入を防止した。
- ⑤南側工区から北側工区（条里ひろば、弥生の果樹ひろば）への連絡路として国道敷地内道路を経由するルートについては、国土交通省と敷地内道路のカラー表示化について占用協議を行う予定である。
- ⑥⑤項を踏まえて、南側工区園路を敷地北側端までの延伸を行う。

### (2) 幅員等について

- ①史跡指定地内を周回する園路幅員は、「国史跡青谷上寺地遺跡整備活用基本計画（詳細化）」及び「青谷上寺地遺跡整備活用基本計画及び基本設計」に準拠し、W=3.0mに設定した。なお、幅員3mの場合、歩行者1名+車いす2台が通行でき、車両については管理用トラック（軽トラック相当の車両）の走行が可能である。
- ②区画溝を周遊する3号園路、弥生の果樹ひろばを周遊する10号園路の幅員は、車いす2台が通行できるW=2.0mに設定した。

園路名	取扱い	巾員	備 考
大 中 公 園	広場的な取扱い	15m以上	車 道 ①一車線3m以上、2車線5.5m以上の巾員 ②曲線半径は30m/hで60m、一般に40m、最少20m ③縦断勾配6%以下、最大10%、横断勾配は砂利道程度4~5%、アスファルト舗装2~3%、アスコン又は、コンクリート舗装1.5~2%
	来園者とトラック2台がすれ違える	10~12m	
	来園者とトラック1台がすれ違える	5~6m	歩 道 ①縦断勾配は10%以内、最大15%それ以上は階段 ②身障者路、横断勾配はなるべく水平、縦断勾配は最大8.3% (1/12)
	管理用トラックが入れる	3m	
	2人歩き	1.5~2m	
小 公 園	1人歩き	0.8~1.0m	

The diagram illustrates a 2.00m wide path. It shows a person standing and a wheelchair. The clearances are marked as 1.00m from the person to the edge and 1.00m from the wheelchair to the edge. The total width of the path is 2.00m.

河原武敏・造園施工管理・日本公園緑地協会・R350

図 7.3 園路の幅員

- ③「軽トラック相当の車両」による維持管理を考慮して、本設計では最小曲線半径を $R=12m$ 、園路幅員が $2.0m$ の園路では最小曲線半径を $R=6m$ に設定した。

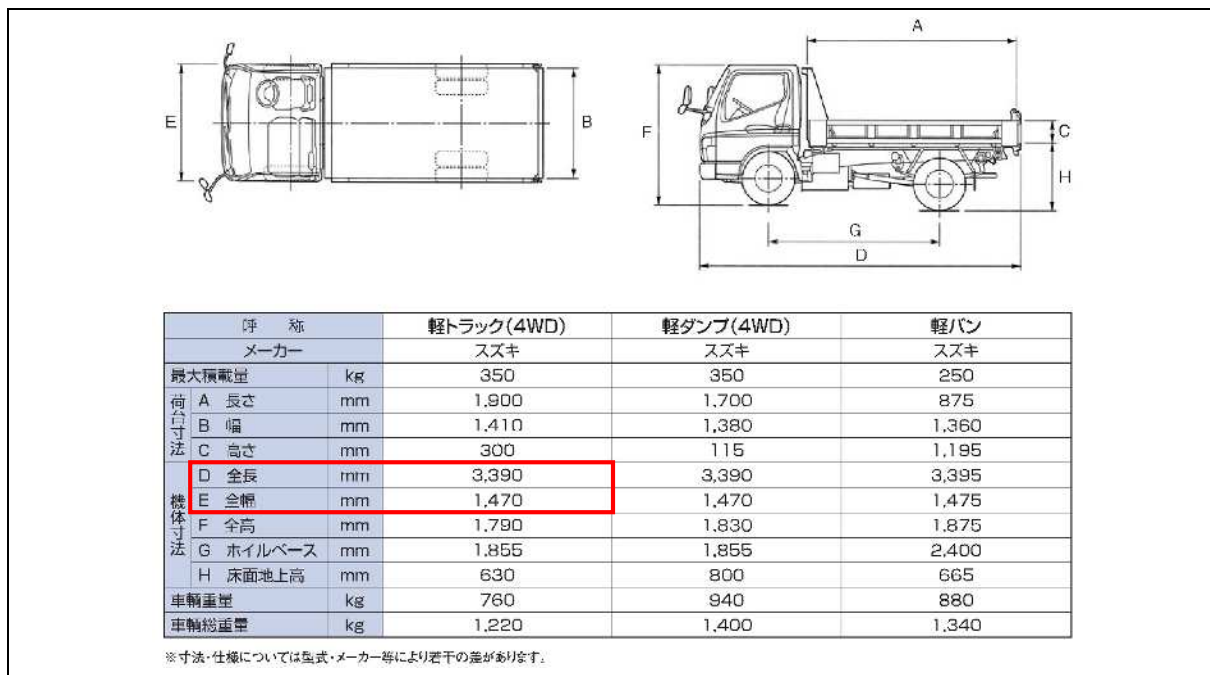


図 7.3 軽トラックの寸法

(3) 縦断勾配・横断勾配について

- ①高齢者や車いす使用者等の円滑な移動に配慮して、縦断勾配を $5\%$ 以下に設定した。
- ②車いす使用者等の利用を考慮し、横断勾配を $1.5\%$ に設定した。

## 7-3 舗装設計

舗装設計に関する基本的な考え方は以下のとおりである。

### 7-3-1 管理車両の走行を考慮する園路等舗装

#### (1) 舗装材の選定について

- ①管理道および園路の舗装材の選定にあたっては南側工区の整合を図り、史跡指定地としての場所性を高める上で効果的な「脱色アスファルト舗装(自然石系)」を採用することとした。



写真 7.1 脱色アスファルト舗装(自然石系)

- ②脱色アスファルト舗装は、天然砂利や真砂土を主骨材として、透明な石油樹脂系バインダーと加熱混合したもので、骨材の持つ天然の色調を生かした自然色舗装である。

#### [特長]

- ◇自然に溶け込んだ落ち着いたムードを創出する。  
(舗装として持つ本来の耐久性を保持し、素材の骨材の特性を生かした自然の仕上がりで周囲の環境に馴染む。)
- ◇時の流れが土の温かさを醸成する。  
(供用後、表面の脱色アスファルト皮膜が摩耗することによって、天然骨材が露出し一層自然観を醸し出す。)
- ◇主な用途として、神社・仏閣の参道・境内、遺跡付近の関連道路、園路、自転車道、遊歩道、公園、広場などがあげられる。

(2) 舗装構成について

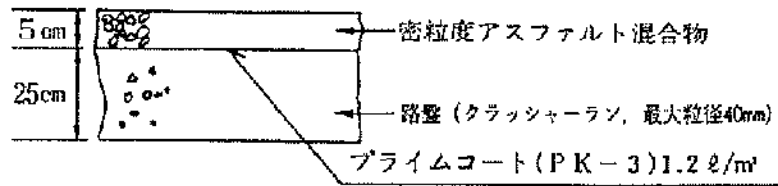
- ①当該道路では4tトラック相当の車両によって、園内の維持管理作業が行われる予定である。  
このため、舗装構成の設定にあたっては、「土木工事設計マニュアル」(中国地方整備局)の“側道舗装”を適用し、「路盤15cm、脱色アスファルト5cm」とした。

側道の舗装構成は下記を標準とする。

1) 幅員が4.0mの場合



2) 幅員が6.0mの場合(L交通を想定)



- 3) 車道幅員4.0m+歩道幅員2.0mで歩車道の分離のないものは、1)の舗装構成を採用。

[注] (1) 上記については、CBR8以上を想定

(2) 交通量等により上記によりがたい場合は、別途考慮のこと。

※「土木工事設計マニュアル」(H29.4中国地方整備局)より抜粋。

図7.4 舗装構成の根拠

### 7-3-2 管理車両の走行を考慮しない園路等舗装等

舗装設計に関する基本的な考え方は以下のとおりである。

#### (1) 舗装材の選定について

- ① 舗装材の選定にあたっては、滑りにくさや歩行安定性、周辺景観との調和などに配慮して「真砂土固化舗装」を採用した。
- ② 「真砂土固化舗装」は、真砂土に固化剤と混和剤を混合した歩行者系舗装材であり、次のような特徴を有する。

#### [特長]

◇自然と調和する。

(現地土の風合いをそのまま生かすことが可能である。)

◇施工が容易である。

(土壌固化材を土と混合し、敷き均し、転圧、散水すれば完成する。)

◇ヒートアイランド現象の抑制に寄与する。

(表面温度の比較試験結果によれば、通常のAs舗装に比べて、盛夏時には約10℃、晩夏～秋には約5℃の抑制効果が認められた。)

◇自然界の動植物への影響が無く、安全である。

(硬化剤の主成分である酸化マグネシウムは、海水など自然界に含まれる天然由来成分のため動植物への影響は無い。)

◇透水性があり、アスファルト並みの硬度を有する。

(透水性があるので水溜りや水はねが生じにくい。また、アスファルト並みの硬度を有し、防草効果に優れる。)



混合・水分調整



運搬



敷きならし



転圧



散水



完成

1) 混合・水分調整

- ・プラント形式、現場用小型ミキサー、トラクター・耕運機やバックホーでの混合、人力混合のいずれの方法でも可能であり、混合不良が起きないように材料土をよく乾かしてから混合する。また、ミキサー・生コンプラント等で混合する場合、適正含水比で混合する。

2) 運搬・敷き均し

- ・施工する場所に舗装材を運び、フィニッシャー、トラクター、ブルドーザー、人力によるレーキやトンボで敷き均し・不陸修正を行う。

3) 転圧・散水

- ・振動コンパクター、振動ローラ、グラウンド整備用ローラなどを使って転圧を行い、端部はハンドバイブレーター、ダンパー、木たこなどを用いる。また、転圧後に散水を行う。

4) 養生

- ・通常の場合は、3日程度シート養生を行う。冬場は養生マットなどで凍害対策を行う。

写真 7.2 真砂土固化舗装の施工手順

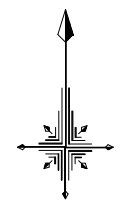
(2) 舗装構成について

- ①当該園路は歩行者の通行が主体である。また、管理用車両の走行頻度は極めて低く、車両種別も軽トラック相当になるものと考えられる。このため、下記のメーカー資料に基づき、舗装構成を「路盤 10 cm、表層 5 cm」に設定した。

#### 7-4 園路等線形

次ページに園路等の線形計図を添付する。

# 園路線形図



園路名 C: 7号園路		
点名称	X座標	Y座標
C: NO.0	-5384.713	-30925.350
C: NO.0+14.729	-53907.213	-30933.140
C: NO.1	-53911.687	-30935.927
C: NO.1+8.156	-53918.609	-30940.240
C: NO.2	-53926.915	-30948.540
C: NO.3	-53930.281	-30947.758
C: NO.3+0.919	-53930.073	-30948.652
C: NO.4	-53925.416	-30947.157
C: NO.5	-53920.535	-31006.552
C: NO.5+7.439	-53918.719	-31013.766
C: NO.6	-53915.654	-31025.947
C: NO.7	-53910.773	-31045.342
C: NO.7+7.910	-53908.842	-31053.014
C: NO.8	-53901.942	-31062.591
C: NO.9	-53883.248	-31061.536
C: NO.9+1.671	-53882.008	-31060.418
C: NO.9+4.733	-53880.064	-31058.059
C: NO.9+9.653	-53871.717	-31045.692
C: NO.10	-53871.521	-31045.405
C: NO.11	-53855.684	-31033.804
C: NO.11+1.579	-53854.164	-31033.379
C: NO.12	-53836.298	-31028.888
C: NO.12+8.480	-53828.074	-31026.821

園路名 T: 1号管理道		
点名称	X座標	Y座標
T: NO.0	-53913.972	-30745.625
T: NO.0+0.854	-53913.369	-30744.921
T: NO.1	-53903.520	-30728.715
T: NO.1+14.319	-53901.706	-30714.588
T: NO.2	-53901.997	-30708.915
T: NO.2+0.112	-53902.002	-30708.802
T: NO.2+9.504	-53902.483	-30699.423
T: NO.3	-53906.300	-30689.847
T: NO.3+14.224	-53918.869	-30684.247
T: NO.4	-53924.643	-30684.594

園路名 T2: 1号園路		
点名称	X座標	Y座標
T2: NO.0	-53900.005	-30708.700
T2: NO.0+15.020	-53885.005	-30707.831
T2: NO.1	-53880.027	-30707.822
T2: NO.2	-53860.228	-30710.309
T2: NO.2+14.612	-53846.415	-30715.019
T2: NO.3	-53841.484	-30717.189

園路名 B: 2号園路		
点名称	X座標	Y座標
B: NO.0-17.064	-53808.192	-30825.493
B: NO.0	-53818.043	-30839.275
B: NO.0+3.915	-53821.050	-30841.779
B: NO.1	-53835.438	-30848.728
B: NO.2	-53855.239	-30848.844
B: NO.3	-53872.827	-30839.846
B: NO.3+18.259	-53883.450	-30825.181
B: NO.4	-53884.135	-30823.580
B: NO.4+1.858	-53884.865	-30821.872
B: NO.4+10.538	-53890.752	-30815.751
B: NO.4+19.849	-53899.253	-30811.693
B: NO.5	-53899.299	-30811.693
B: NO.5+19.216	-53913.681	-30799.294
B: NO.6	-53914.119	-30798.643
B: NO.6+3.093	-53915.846	-30796.077

園路名 M: 3号園路		
点名称	X座標	Y座標
M: NO.0	-53821.050	-30841.779
M: NO.1	-53836.040	-30855.019
M: NO.1+0.419	-53836.354	-30855.296
M: NO.1+9.359	-53844.135	-30859.547
M: NO.2	-53854.372	-30862.452
M: NO.2+5.760	-53859.914	-30864.024
M: NO.2+10.350	-53864.459	-30864.412
M: NO.3	-53874.054	-30863.291
M: NO.3+2.034	-53876.077	-30863.176
M: NO.3+14.713	-53882.150	-30871.679
M: NO.4	-53879.916	-30876.470
M: NO.4+2.494	-53878.862	-30878.731
M: NO.4+10.414	-53872.317	-30882.092
M: NO.4+12.404	-53869.378	-30881.541
M: NO.4+17.812	-53865.140	-30882.320
M: NO.5	-53863.274	-30883.462
M: NO.5+0.062	-53863.221	-30883.495
M: NO.5+4.489	-53857.088	-30883.578
M: NO.5+13.868	-53850.701	-30879.899

園路名 U: 4号園路		
点名称	X座標	Y座標
U: NO.0	-53908.192	-30825.493
U: NO.1	-53900.175	-30807.170
U: NO.2	-53792.157	-30788.847
U: NO.2+3.306	-53790.832	-30785.818
U: NO.3	-53779.559	-30773.963
U: NO.4	-53760.153	-30773.068
U: NO.4+0.951	-53759.274	-30773.430
U: NO.4+11.153	-53749.918	-30777.498
U: NO.5	-53743.183	-30783.036
U: NO.5+16.332	-53741.644	-30788.594
U: NO.6	-53743.117	-30801.954
U: NO.7	-53751.145	-30820.271
U: NO.8	-53759.174	-30838.589

園路名 C2: 8号園路		
点名称	X座標	Y座標
C2: NO.0	-53907.213	-30933.140
C2: NO.0+19.005	-53897.163	-30949.269
C2: NO.1	-53897.976	-30949.846
C2: NO.2	-53914.291	-30961.414
C2: NO.2+1.149	-53915.229	-30962.078
C2: NO.3	-53910.628	-30980.359
C2: NO.3+3.675	-53909.731	-30983.923
C2: NO.4	-53905.747	-30999.754
C2: NO.4+4.745	-53904.589	-31004.356
C2: NO.4+6.201	-53904.233	-31005.768
C2: NO.4+9.232	-53903.494	-31008.708
C2: NO.5	-53897.265	-31017.492
C2: NO.5+7.406	-53893.942	-31023.333
C2: NO.6	-53885.698	-31033.807
C2: NO.6+6.406	-53880.836	-31040.664



園路名 D: 古代山陰道		
点名称	X座標	Y座標
D: NO.0-10.056	-53828.074	-31026.821
D: NO.0	-53834.334	-31018.951
D: NO.0+9.197	-53840.060	-31011.754
D: NO.0+19.728	-53846.616	-31003.512
D: NO.1	-53846.785	-31003.299
D: NO.1+8.171	-53851.872	-30996.905
D: NO.1+10.229	-53853.150	-30995.292
D: NO.2	-53859.144	-30987.575
D: NO.2+4.788	-53862.035	-30983.759
D: NO.3	-53871.017	-30971.482
D: NO.3+1.119	-53871.665	-30970.570
D: NO.3+12.243	-53878.017	-30961.438
D: NO.3+17.657	-53881.048	-30956.951
D: NO.4	-53882.350	-30955.004
D: NO.4+13.250	-53889.717	-30943.990
D: NO.5	-53893.469	-30938.380
D: NO.5+6.569	-53897.121	-30932.919

園路名 K: 9号園路		
点名称	X座標	Y座標
K: NO.0	-53927.223	-30868.883
K: NO.1	-53921.098	-30887.922
K: NO.1+16.110	-53916.164	-30903.259
K: NO.2	-53914.973	-30906.961
K: NO.2+1.454	-53914.528	-30908.346
K: NO.2+16.558	-53903.114	-30916.871
K: NO.2+18	-53901.672	-30916.872

園路名 K2: 10号園路		
点名称	X座標	Y座標
K2: NO.0	-53916.164	-30903.259
K2: NO.0+5.771	-53920.945	-30900.027
K2: NO.1	-53933.914	-30901.551
K2: NO.1+10.111	-53936.187	-30910.967
K2: NO.1+17.365	-53934.260	-30917.960
K2: NO.2	-53934.132	-30920.571
K2: NO.2+1.880	-53934.733	-30922.344
K2: NO.2+2.986	-53935.247	-30923.323
K2: NO.2+19.167	-53926.341	-30930.916
K2: NO.3	-53925.674	-30930.417
K2: NO.3+9.805	-53917.824	-30924.543
K2: NO.4	-53913.051	-30915.879
K2: NO.4+4.680	-53913.590	-30911.260

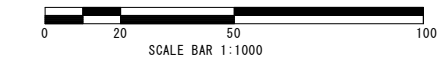
園路名 K3: 11号園路		
点名称	X座標	Y座標
K3: NO.0	-53929.622	-30858.643
K3: NO.0+19.200	-53938.442	-30841.589

園路名 南工区園路延伸(西側)		
点名称	X座標	Y座標
BP	-53961.087	-31090.445
BC (+12.48)	-53959.384	-31078.079
EC (+30.95)	-53959.699	-31059.683
EP (+46.38)	-53962.273	-31044.777
IP	-53958.114	-31068.857

園路名 南工区園路延伸(東側)		
点名称	X座標	Y座標
BP	-53999.795	-30901.948
BC (+4.66)	-53995.768	-30904.296
EC (+14.96)	-53986.032	-30903.847
EP (+26.34)	-53978.747	-30897.291
IP	-53990.762	-30907.217

IP	17-38-19.20
IA	60.000
R	9.309
TL	0.718
SL	18.471
CL	

IP	65-33-59.31
IA	9.000
R	5.796
TL	1.705
SL	10.299
CL	

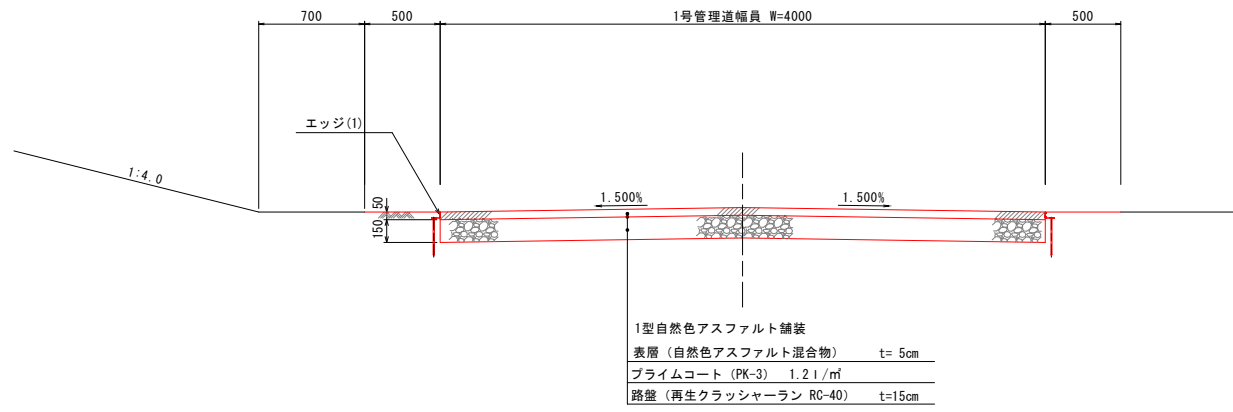


事業名	史跡青谷上寺地遺跡整備事業		
工区名	指定地北側工区		
図名	園路線形図		
位置	鳥取市青谷町青谷地内		
縮尺	単位	M	
図号	全 葉中の内		
令和	年度施行	鳥取県	
		鳥取県	

# 園路標準断面図

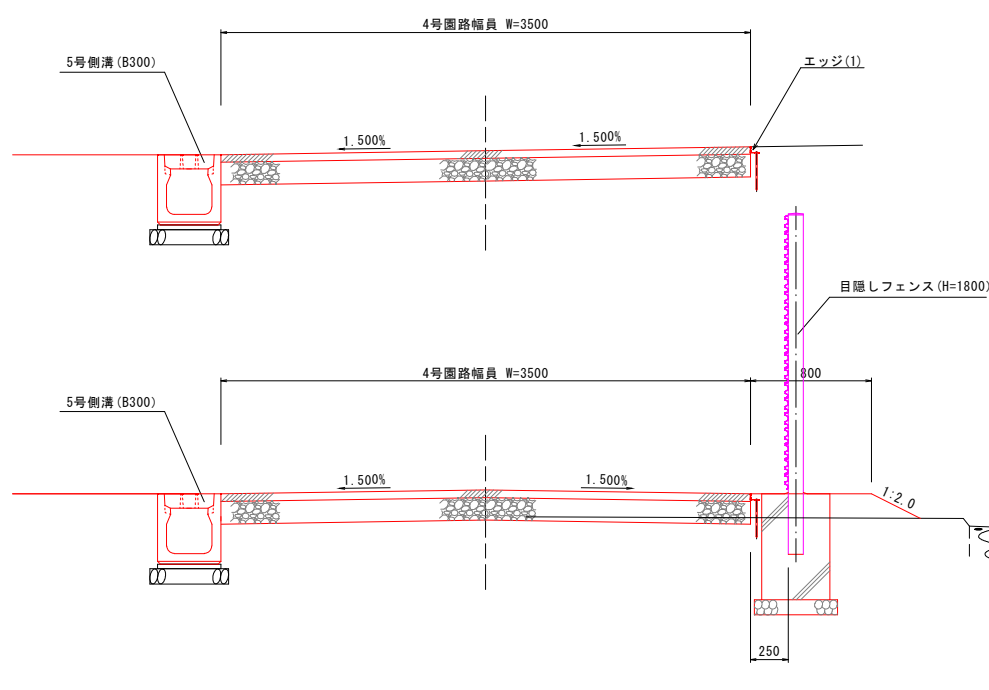
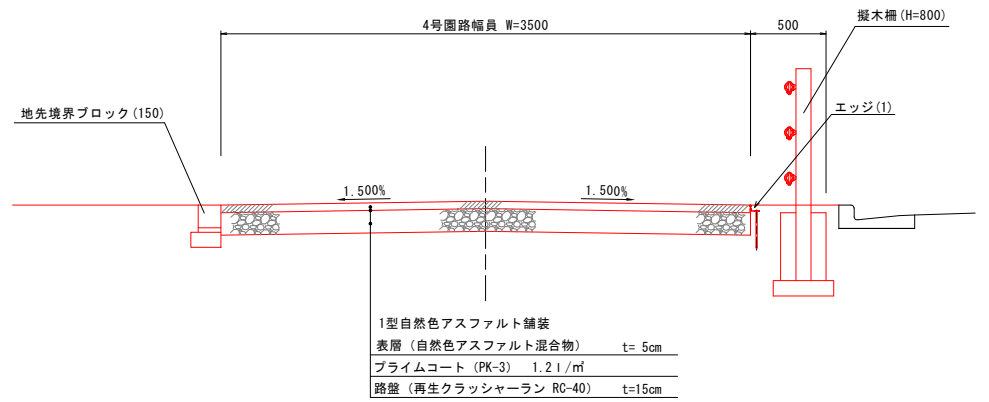
## 管理用道標準断面図

S=1:25



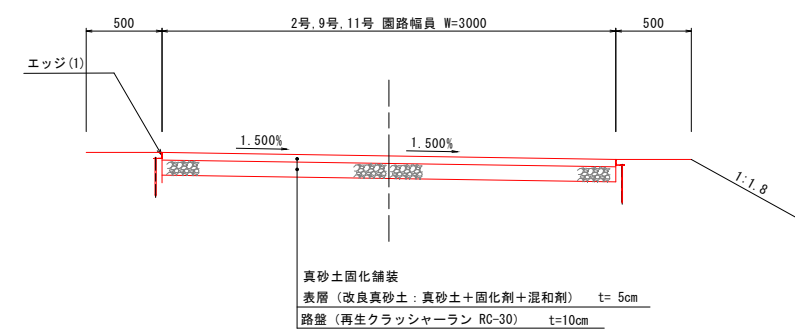
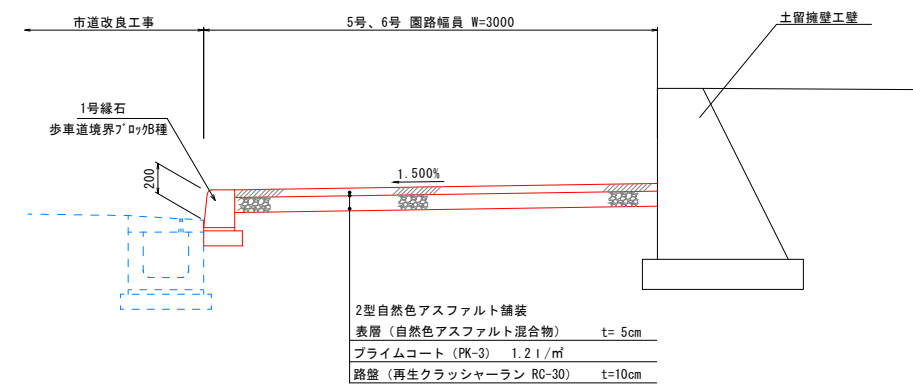
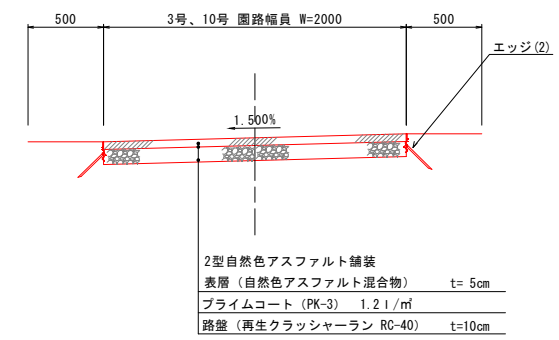
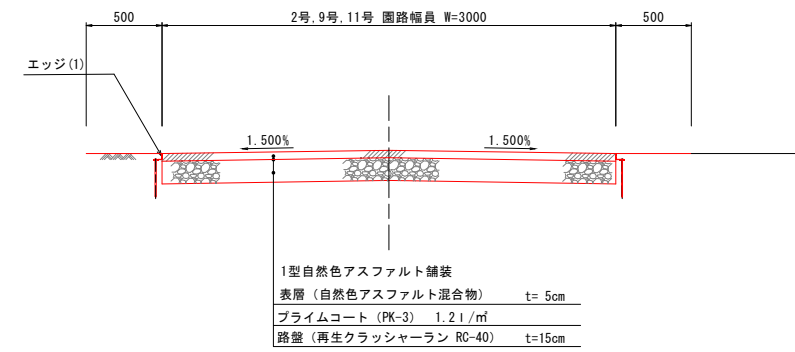
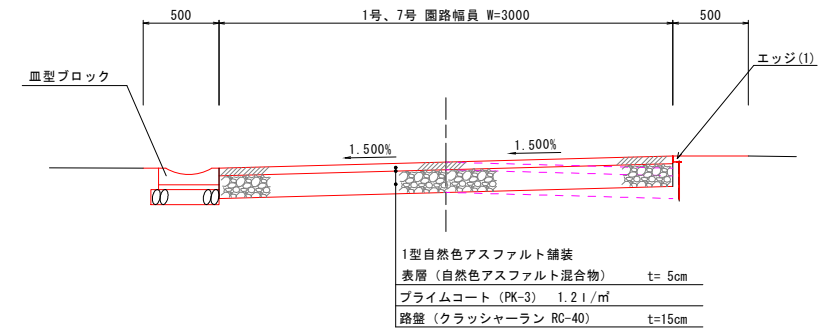
## 4号園路標準断面図

S=1:25



## 園路標準断面図

S=1:25



## 7-5 工事用道路設計

園路及び管理道のルート上には盛土構造（良質土 0.5m厚）による工事用道路を先行整備した。工事用道路の設計方針は以下のとおりである。

- ①工事用道路の幅員を全幅 4.5m、有効幅員 3.5mに設定した。なお、当該工事用道路は一車線走行を原則としているため、経路の途中に車両の転回場所を数ヶ所設置した。
- ②工事用道路を先行整備することにより、現況地盤の圧密沈下促進、地盤強度の増加、ならびに残留沈下量の低減等の効果が期待される。また、施設供用後においても工事用道路構築時の盛土（良質土）は、そのまま存置し、園路及び管理用道路の路床材として利用することになる。このため、本設計では園路及び管理用道路への路床改良は実施しないこととした。
- ③工事用車両の走行性を考慮し、表層部には 0.1m厚の砕石（RC-40）を敷設した。
- ④園路ルート上に走行する工事用道路を「仮設園路」と称し、現況地盤と盛土との境界部は、表土剥ぎ取り 0.2m を行う。
- ⑤園路ルート上に設置しない工事用道路現況地盤と盛土との境界部には、土層分離材として土木安定シート（ヤシ繊維）を敷設した。土木安定シートの敷設によって、降雨や地下水位上昇時の土砂の沈み込みを防止でき、田土と混入することのない安定した支持層の確保が可能となる。

### 表層安定処理計画

公園整備の北側工区のうち県道青谷停車場井手線より南側については、現在の土地利用が水田である。敷地造成工事の盛土材敷均工事において、トラフィカビリティの確保が課題となる。

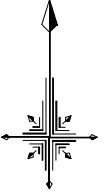
一般にトラフィカビリティは、コーン指数  $q_c$  で示される。下表は道路土工要綱（社：日本道路協会 p.287）に示される建設機械の走行に必要なコーン指数を示したものである。普通ブルドーザ(15t 級)では  $q_c=500\text{kN/m}^2$  を要し、湿地系ブルドーザでは  $q_c=300\text{kN/m}^2$  を要する。

トラフィカビリティの改善を目的として、対象とする水田エリアの表層安定処理を行う。対処とする表土厚は水田表土として厚さ 0.20m を対象とする。安定処理材は、最小添加量の  $50\text{kg/m}^3$  を想定する。対象層厚が 0.20m とするため、 $10\text{kg/m}^2$  相当の固化剤を表面に散布してバックホウ混合する方法を選定する。

解表 5-4 建設機械の走行に必要なコーン指数

建設機械の種類	建設機械の接地圧 ( $\text{kN/m}^2$ )	コーン指数 $q_c$ ( $\text{kN/m}^2$ )
超湿地ブルドーザ	15~23	200 以上
湿地ブルドーザ	22~43	300 以上
普通ブルドーザ(15 t 級)	50~60	500 以上
普通ブルドーザ(21 t 級)	60~100	700 以上
スクレープドーザ	41~56 (27)	600 以上 (超湿地型は 400 以上)
被けん引式スクレーパ (小型)	130~140	700 以上
自走式スクレーパ (小型)	400~450	1,000 以上
ダンプトラック	350~550	1,200 以上

# 工事用道路・仮設園路計画平面図

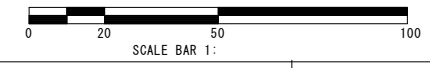


S=1:1000 (A1サイズ)  
S=1:2000 (A3サイズ)



事業名	史跡青谷上寺地遺跡整備事業		
工区名	指定地北側工区		
図名	工事用道路等計画平面図		
位置	鳥取市青谷町青谷地内		
縮尺	1:2000	単位	M
図号	全葉中の内		
令和	年度施行	鳥取県	
		鳥取県	

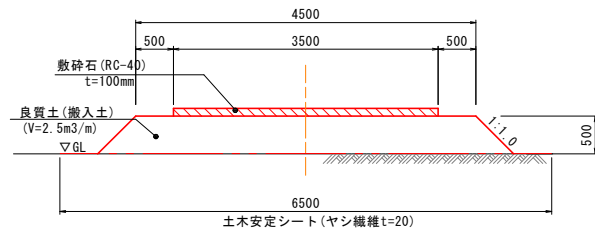
注意事項  
 □印は、史跡境界を示すコンクリート杭である。  
 移動もしくは撤去しないこと。  
 仮移設が生じる場合は、公園事務所へ連絡し  
 指示を得ることとする。



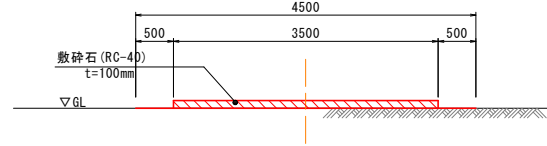
工事用道路 標準断面図

S=1:50 (A1判)

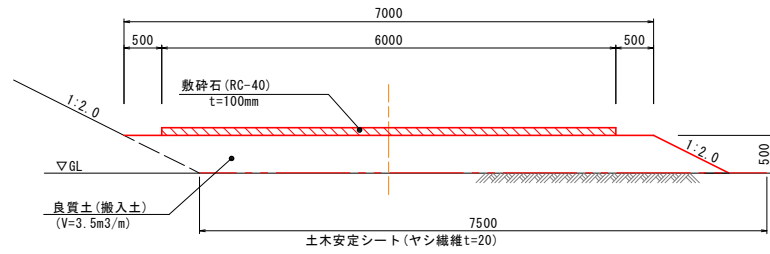
(I型) 対象: ⑥⑦⑧⑨



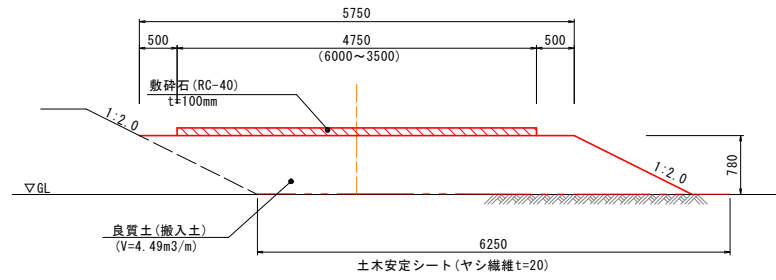
(II型) 対象: ①②③④



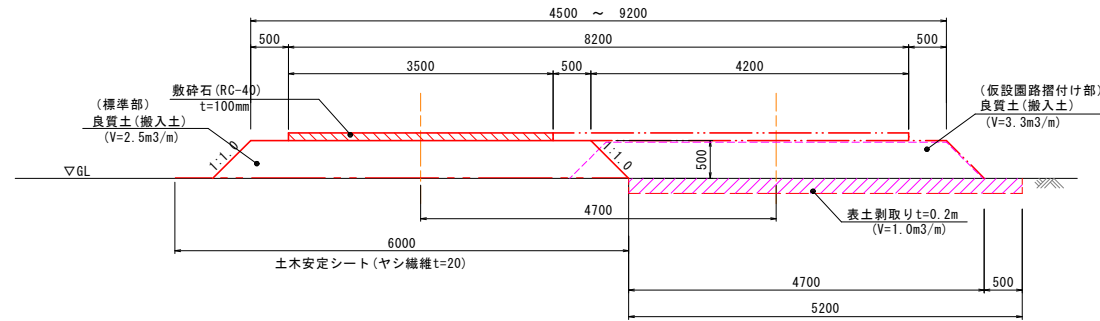
(III-1型) 対象: ⑤



(III-2型) 対象: ⑤



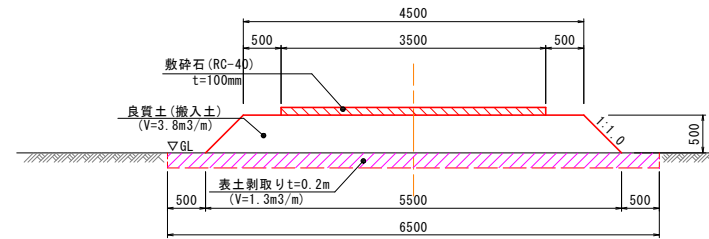
(IV型) 対象: ⑩



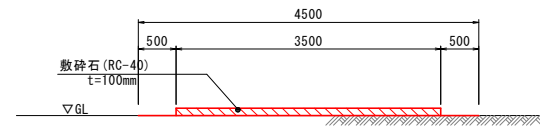
仮設園路 標準断面図

S=1:50

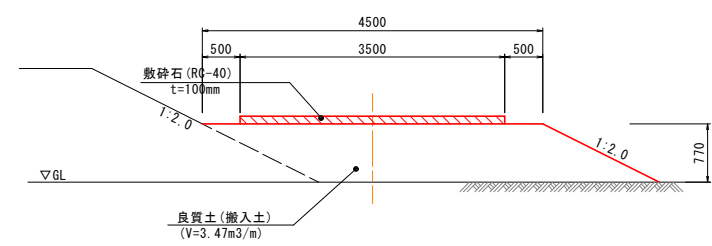
(I型) 対象: ⑤⑥



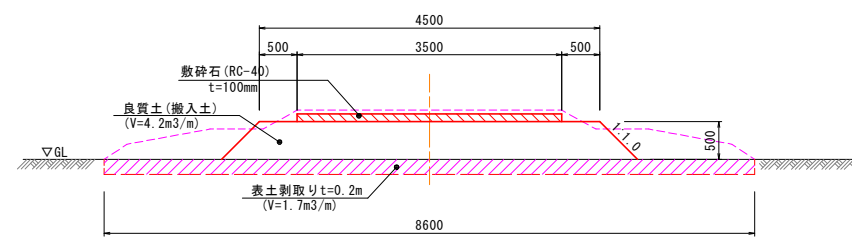
(II型) 対象: ①②③



(III型) 対象: ④

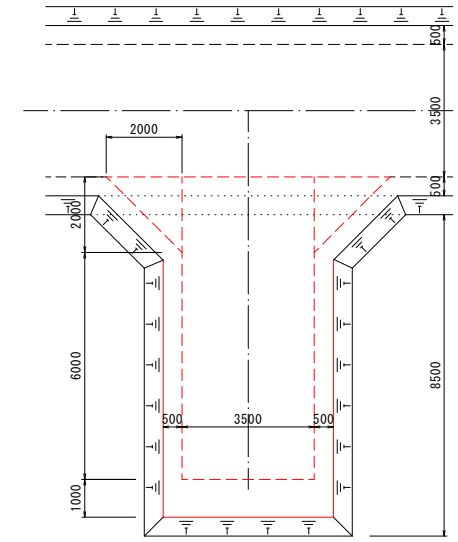


(IV型) 対象: ⑦⑧



ダンプ回転場寸法図

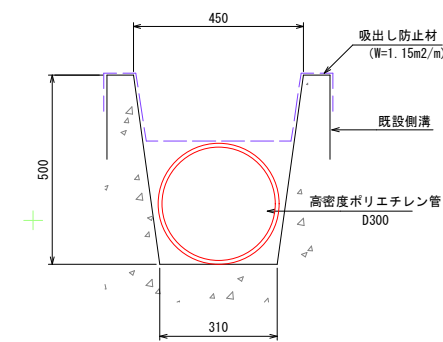
S=1:100



ダンプ回転場寸法図

仮設排水管

S=1:10



仮設排水管

S=1:20

